



2016(平成 28)年 3 月 3 日

各 位

上場会社名 東燃ゼネラル石油株式会社
 代表者 代表取締役社長 武藤 潤
 (コード番号 5012)
 問合せ先責任者 EMG マーケティング合同会社
 広報渉外統括部 メディア広報部
 部長 甲斐 航介
 (Tel: 03-6713-4400)

(訂正)「平成 27 年 12 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 28 年 2 月 12 日に公表いたしました「平成 27 年 12 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

訂正内容（訂正箇所を下線で表示しております。）

3 ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析 ②次期の見通し」

【訂正前】

② 次期の見通し

(単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2,300,000	48,000	47,000	31,000

平成28年12月期の業績予想は上記の通りです。連結営業利益480億円の内訳は、石油事業で470億円、石油化学事業で180億円の利益、EMGマーケティング合同会社持分の取得等に係るセグメントに配分されないのれんの償却費170億円です。在庫評価損益が営業利益に与える影響は、本予想ではゼロと想定しております。

営業利益が平成27年12月期の20億円から460億円改善する主な要因は、前期は871億円であった在庫評価損を本予想ではゼロと想定している一方で、石油事業について輸出マージンの若干の低下を見込み、原油調達に係る優位性を織り込まない結果、約220億円のマイナスを想定、また石油化学事業についても前期収益を牽引したエチレンマージンの低下を想定し、約190億円のマイナスを見込んでいるためです。経常利益は470億円、親会社株主に帰属する当期純利益は310億円を見込んでいます。

【訂正後】

② 次期の見通し

(単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2,300,000	48,000	47,000	31,000

平成28年12月期の業績予想は上記の通りです。連結営業利益480億円の内訳は、石油事業で470億円、石油化学事業で180億円の利益、EMGマーケティング合同会社持分の取得等に係るセグメントに配分されないのれんの償却費170億円です。在庫評価損益が営業利益に与える影響は、本予想ではゼロと想定しております。

営業利益が平成27年12月期の20億円から460億円改善する主な要因は、前期は871億円であった在庫評価損を本予想ではゼロと想定している一方で、石油事業について輸出マージンの若干の低下を見込み、原油調達に係る優位性を織り込まない結果、約320億円のマイナスを想定、また石油化学事業についても前期収益を牽引したエチレンマージンの低下を想定し、約90億円のマイナスを見込んでいるためです。経常利益は470億円、親会社株主に帰属する当期純利益は310億円を見込んでいます。

以上